



保南の風にのせて

<http://www.kusuna-e.edu.city.hiroshima.jp>

校長 杉山幸子

楠那小だより

臨時号 2号

平成24年

5月18日発行

自分をつくるのは自分（自分できめる 自分でやりぬく子）
勉強がわかる楠那の子 人にやさしい楠那の子 たくましくやりぬく楠那の子

外にも出よ 触るるばかりに 春の月 5月も早いもので20日ほど過ぎていこうとしています。春から夏へ草木の新芽がぐんと伸び、どの学年もしっとり落ち着いた学校生活を送っております。

学校経営につきましては、PTA総会で配布させていただきました「楠那の教育」に向かって取り組みを進めています。

学習面につきましては、先日配付いたしました家庭用シラバスに基づき、日々取り組んでおります。どの学級も学校教育目標という大きな目標に向かって学級経営をしています。子どもたちが、学級という集団の中で友達や先生とともに学び合いながら、少しずつ、目標に向かって努力して向上するような工夫をどのようにしていくか計画を立てます。それは学級の児童の実態や教師の個性によって多少異なります。学級経営がスムーズに行われるためには、保護者のみなさまのご理解とご協力が欠かせません。引き続きよろしくお願いたします。

楠那の教育

勉強がわかる
楠那の子



人にやさしい楠那の子



たくましくやりぬく
楠那の子

勉強が
わかる
楠那の子

「勉強が楽しい」と感じられる授業を行います。

「わかる喜び」「できる喜び」「学ぶ楽しさ」があふれる授業をめざして一毎時間、3つの授業像を心がけます。

- ① その時間のめあてを必ず示します。
 - ② 全員が発表できる工夫をします。
 - ③ 目で見てよくわかる板書を工夫します。
- ※ 板書・教師が黒板に書く内容や黒板に示す資料のことを指します。

「ことば」を大切にすることをめざしてすべての教科で「言語活動」を重視します。

- ・ 意図的に「書く」活動を取り入れ、自分の思いが伝わる喜びを感じられるようにします。
- ・ 子どもたちの書いた作文を、学級だより等で積極的に公開します。
- ・ 3年生以上では、日常的に国語辞典を活用していきます。
- ・ 親子でしっかりと言葉を交わす時間を大切にしてください。そして、子どものすてきな「ことば」に立ち止まって、褒めたり共感したりしてあげてください。
- ・ 学校読書を家庭読書へつなげる工夫をします。家庭でもできるだけ本や辞書、新聞など活字に触れる機会を増やし、新しい知識や情報、豊かな感性との出会いを楽しみ雰囲気づくりをしてください。

自分だけのたからものと呼べるノートづくりをめざして一自分の思いや考えを書く指導を進めます。

- ・ 板書をお手本にしながら、発達段階に応じたノート指導を進めます。
- ・ 赤ペンのコメントなどで、やる気を引き出すようにします。
- ・ 我が子のノートを開いてください。担任同様、コメントを書いていたいたりしても構いません。子どもたちは温かいコメントでやる気をぐんぐん出します。

ふりかえりのポイント

- お子さんは、学校の勉強がよくわかっていますか。
- お子さんは、自分の思いを生き生きと書くことができますか。
- お子さんは、家庭で活字にふれる機会が増えていますか。
- お子さんは、自分の思いや考えをノートに書いていますか。

勉強が
わかる
楠那の子

くり返し学習で、とことんやりぬく力を育てます。

積み重ねによる学力の土台固めをめざして一ドリル（反復）学習を徹底します。

- ・ 家庭学習では、漢字のくり返し練習、計算のくり返し練習、音読練習を継続します。
- ・ 平成23年度より、新しい学習指導要領に基づく教育が始まりました。授業時間数が増えたり、学習内容が変わったりしています。学力の確かな定着のために、毎日家庭学習をさせてください。

できるまでやりぬく子をめざして一テストやプリントを上手に活用します。

- ・ テスト直しの習慣を身に付けさせます。
- ・ 提出すべきものは期限を守って提出するよう働きかけていきます。



学習の習慣を確立する学校と家庭の連携をめざして一学年だより、学級だよりを活用して、学習の進捗や指導のポイント等をお知らせします。

- ・ 授業の進み具合が分かるように、どの学年も「学年だより」で学習予定表をお配りしています。また、各家庭への協力のお願等も掲載しています。必ず目を通し、ご利用ください。
- ・ 行事等の関係で授業がカットとなった場合、別の曜日に授業を振り替える場合があります。「学年だより」等でご確認ください。

ふりかえりのポイント

- お子さんは、毎日家庭学習（宿題）に取り組んでいますか。
- お子さんは、テストやプリントをとことんやりぬいていますか。
- お子さんは、学年だよりや学習予定表を上手に活用して、見直しをもって学習していますか。

勉強が
わかる
楠那の子

学習規律を徹底し、学びの環境を作ります。

「学校は勉強するところ」の意識高揚をめざして一学年で学習規律を徹底します。

- 楠那小学校では、次のような学習規律を定め、発達段階に応じて、分かる表現で指導したり、目で見て分かるように掲示したりしていきます。

	徹底することから
もちもの	<ul style="list-style-type: none"> ふで箱の中に入れるものは次のとおりです。整理整頓を心がけます。けずったえんぴつ5本・赤えんぴつ(赤ペン)1本・消しゴム・定規・なまえんぴん ※色ペンは必要ならあと1本まで お道具箱の中に入れるものは次のとおりです。整理整頓を心がけます。各学年で指定されたものりのはさみ・色えんぴつ(クーピー)算数科において指導した後は、三角定規2種、分度器、コンパス もちものには全て名前を書きます。 かばんやふで箱にかざりをつけません。アクセサリー的な身の回りの品については持ってきません。(学習の邪魔になっていると判断する場合には禁止します。)
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> チャイムがなつたすくすくに行きます。
始業	<ul style="list-style-type: none"> 運動場や特別教室への移動は、すばやく、静かに、整然と行います。 時計を見て席につきます。
授業中	<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢で座ります。(腰背を立てる・机の上に乗らない・頬杖をつかない) 挙手のときは、手をまっすぐ上に挙げ、指名を受けたら必ず元気づけ「はい」と返事をすばやく立ちます。 課題が終了したときには、自分の席に座って読書するなどして静かに待ちます。
発表	<ul style="list-style-type: none"> 先生・友だちの方を向いて、口をしっかりと開けて話します。(友だちに向かって話す) 語尾の「～です。」「～ます。」まで意識して言い切ります。
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 先生・友だちの方を向いて、最後までしっかりと聞きます。 聞き方や尋ね方のルールを守ります。
書く	<ul style="list-style-type: none"> 配布物プリント・テストなどには必ず名前を書きます。 速く、大きく、一面一面でいかに書く。・3年生以上では、名前に使われている漢字は全て使う。 板書をしっかりとしなから、ていねいにノートを書きます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 席を離れるときは、必ず机の中に入れます。 体育着替えて強い衣類はきちんとたたみます。 消しゴムのカスや紙の切れ端などをむやみに足もとに落としません。 廊下・階段は右側を歩きます。 名札は、校内では必ずつけます。 シャツは、ズボンやスカートの中に入れます。

ふりかえりのポイント

- (来校のおりに見てください) 子どもたちは、約束を守り、集中して学習しているでしょうか。

人に
やさしい
楠那の子

温かい人と人とのつながりを大切にします。

温かい学級づくりをめざして一自分の意見を進んで発表できる安心を生み出します。

- 一人一人を徹底的に大切にすることを「土」で行います。
- いじめ、仲間はずれは絶対に許しません。
- 子どもたちの話をよく聞き、適切に指導を行うとともに、話を聞き合い、話し合い、認め合う友だち関係をつくります。家庭でも、子どもたちの声にしっかりと耳を傾けるようにしてください。

心が通う温かい言葉づかいのできる子をめざして一家庭・地域と協力して、指導を進めます。

- 正しい言葉づかい・温かい言葉かけの大切さを指導するとともに、どんな言葉づかいがふさわしいのか具体的に指導します。
- 「言葉遣い」は、学校でのみ学ぶものではありません。家庭でのしつけが重要です。「乱暴な言葉遣い」や「思いやりのない言葉遣い」は相手を傷つけるだけでなく、自分の値打ちを下げってしまうということをしっかりと教えてください。

さらに「子どもが主人公」をめざして一子どもどうしが学び合い育ち合う取組を進めます。

- 児童会活動・たてわりグループ活動をさらに充実させます。
- 高学年の力や可能性を引き出し、「高学年の人がきちんとしているんだから自分たちもがんばってみよう」「下級生に誇らしく思ってもらえる行動を心がけよう」という児童相互の関係をこれまで以上に作っていくよう、働きかけを進めます。
- 家庭でも、子どもに判断させたり決断させたりする自分でできる場面を作ってください。

そして、それが成功体験・達成感につながるよう、つかず離れず支えてあげてください。

ふりかえりのポイント

- お子さんは、日々の学校生活を「楽しい」と感じていますか。
- お子さんは、思いやりのある温かい言葉を使っていますか。
- (来校のおりに見てください) 子どもたちが仲間を大切にできる気持ちで学校生活を送っている感じが感じられますか。

お手元にお持ちの「楠那の教育」の「ふりかえりポイント」項目を中心にアンケートをとらせていただきます。

人に
やさしい
楠那の子

学校のきまりや社会のルールを守る態度を育てます。

学校のきまりを守る子をめざして一楠那小のきまりを徹底指導します。

- 「きまりは、みんなが気持ちよく生活するためにある」ということを、発達段階に合わせて教えていきます。
- すべての教職員が同じ目線で子どもたちを見、「社会で許されないことは学校でも許されない」という姿勢で指導にあたります。

地域の一員として自覚をもって行動する子をめざして一まずは身近なところから、ルールを守る姿勢を育てます。

- 地域の人々に迷惑をかける行いや危険な遊びをしないよう、機会をとらえて指導します。
- みんなでするものや場所を大切にすることを教えます。
- 放課後・休業日等の過ごし方は、学校での指導をふまえて、家庭でも十分に話し合い、適切に見守りをしてください。そして、自分の暮らす地域を大切にすること、人に迷惑をかけてはいけないことを我が子に教え、どこへ行っても、自分の行動は見られているという自覚をもたせてください。

3つの「あ」が息づく温かい学校をめざして一規範意識の出発点として、粘り強く働きかけます。

- 明るく元気なあいさつの「あ」・・・まずは「おはよう」「こんにちは」「さようなら」が当たり前になるよう指導します。
- あとしまつの「あ」・・・あとから使うのことを考える、また「もの」やそれに関わる人の気持ちを考える姿勢を育てます。
- ありがとうの「あ」・・・感謝の気持ちを育てます。
- 親から子へのあいさつ、感謝の「ありがとう」、また失敗したときの「ごめんなさい」を子どもたちはよく見えています。まずは大人から、の姿勢を学校・家庭で共有していきます。

ふりかえりのポイント

- お子さんは、日ごろからきまりを守って行動しようとしていますか。
- お子さんは、放課後や休業日等、ルールを守って遊んでいますか。
- お子さんは、3つの「あ」ができるようになっていますか。

たくましく
やりぬく
楠那の子

体力をつけ、自分の健康と安全を守る力を育てます。

健康な心と体をめざして一天気の良い日には、運動場・屋外に出て外遊びをするよう働きかけます。

- 友だちと一緒に、体を動かして元気に遊ぶことは、体の成長のみならず、豊かな心を育み、社会性を培う上で大変重要です。天気の良い日には声かけに努めます。
- 学級みんなで遊ぶ機会や、たてわりグループで遊ぶ機会を計画的に設けます。

歯・口の健康づくりをめざして一よりよい習作が身に付くよう、各家庭と連携します。

- 歯みがきカレンダーなどを有効に活用し、冷食後の歯みがきを継続します。この習慣を、家庭での食事・おやつあとの歯みがきにつなげてください。
- 親子歯みがきチャレンジなどを計画してみてください。

食に関心の高い子をめざして一楽しい給食時間をつくります。

- 食べる時間をしっかりと確保し、だれもが気持ちよく食べることのできる雰囲気づくりに努めます。
- バランスのとれた食事の大切さや食事のマナー等、家庭でもしっかりと教えてください。

ふりかえりのポイント

- お子さんは、進んで外遊びをしていますか。
- お子さんは、進んで歯みがきをしていますか。
- お子さんは、好き嫌いをなく食事をしたり、考えておやつを食べたりしていますか。

一年間、日々の授業を大切に、「めあて」と「評価」を意識した教育活動に根気よく取り組みます。また、一年間、学校生活目標「あいさつ」「身だしなみ」「なかよく(言葉づかい)」「ルールを守る(チャイムなど)」繰り返し、繰り返し徹底していきます。地域の方から「自分からあいさつができるとなお良いです」とご意見をいただきました。いつも見守っていただいている地域の方々にも、気持ちよく「あいさつができる」子どもに育ててくれることを願っています。

5月27日は春季大運動会です 児童が出入りする入退場門が新しくなりましたので、ご覧ください



6年生にとって、小学校最後の運動会となります。55名が心を一つに演技に係活動に下学年のお世話に働いてくれています。

一つ一つ責任を果たし、人の役に立つという経験が、また、6年生を一回り大きく成長させてくれています。当日は、活躍する6年生の姿にご声援ください。

1年生は小学校初めての運動会です。広い運動場で、2年生に教わりながら練習に励んでいます。さわやかな五月晴れの中、各学年とも指示をよく聞き練習を積んでいます。6年生同様、あたたかいご声援をよろしくお願いいたします。

2年生が1年生を案内して、校内をまわりました。

4月19日



2年生は1年生の手を引ながら、校内巡りをしました。「ここは、校長室です。」という2年生のガイドぶりに、1年生は頼りになる学校の「お兄さん、お姉さん」を感じているようでした。

2年生は、得意になり各部屋を立派に紹介していました。「1年生のお兄さん、お姉さん」として成長を感じてくれたようです。この場面が、2年生にとって、ワンステップする成長の重要な一コマなのです。こうした体験を通して、学校という集団の中で心を太らせていくのです。これから、さまざまな異学年交流が始まりますが、ねらいをもって積極的に取り組んで参ります。

子育て金のルール5（脳を牛耳っているのはホルモンのバランス）

- ルール1 **早寝** 海馬（かいば）は脳を知識工場、眠っている間に知識を作ります。テレビ・ゲームは9時までに終了。残像が残るので、10時～2時には夜の魔法メラトニン分泌量が多く、その中に成長ホルモンが多く含まれます。睡眠は本当に重要です。
- ルール2 **早起き** 朝の脳内温度は体を動かすことで働きがよいそうです。セロトニンというホルモンが分泌します。これがしみじみした充足感を知恵や知識に変えます。早起きや手伝いをする事でセロトニンが分泌されます。
- ルール3 **朝ご飯** 特に脳に効くのは炭水化物、アミノ酸です。
- ルール4 **読書** 読書することで、脳の回路が次々とながっていくのだそうです。世界観を劇的に増すことになる読書は非常に重要です。
- ルール5 **適度な運動（群れ遊び）** 海馬に与えるもう一つの魔法。「脳を鍛えるには運動しかない」とレイティ博士という方が言っています。だから、成績を上げるためには運動が大切。群れ遊びが脳に自由空間を作るためとても重要なのです。

金のルールは、日ごろ私たちが必要だと考え、口にしてのことそのものです。子育ては、何気ない生活習慣の積み重ねが大切だということです。